

## 研修報告書No. 1 0

所 属：昭和大学病院臨床研修センター

研修医 岡田 洋介

研修先：佐川町立高北国民健康保険病院

仁淀川町国民健康保険大崎診療所

1月という短い期間ではありましたが、高知県での地域医療研修を終えたので報告させていただきます。地域医療研修先として選択可能病院の中から高知県の高北病院を選んだ理由は主に2つあります。一つは以前に旅行で訪れた事があり、再訪したい（できるなら短期で生活してみたい）と常々思っていたこと。もう一つは祖父が若いころに高知県で働いており、病院名がたしか高北病院だったという記憶が曖昧ながらあった事。後者に関しては正にその病院で、病院の記念誌に若かりし祖父の写真を見つけた時は感動しました。その記念誌も頂く事ができるので、祖父母に地酒の司牡丹とともに送り、とても喜んでもらえました。事務長さんの心遣いがとても嬉しかったです。この場を借りて、改めてお礼を言わせていただきます。ありがとうございました！

前置きが長くなりましたが、そろそろ本題に入ります。まず研修内容についてですが、高北病院での研修は主に指導医の先生の往診や外来の見学とリハビリ見学、デイサービスセンターへ訪問しての利用者さんとの交流を、大崎診療所では外来と往診の見学をさせていただきました。先生方の診療を見学させていただき、往診では患者さんの普段の日常を垣間見ることができました。また、その合間に地域ならではの体験談などを伺うことができ、地域医療の在り方を身をもって学ぶことができたと思います。研修は有意義なもので、大学病院など都心の大きな病院で行う医療と地域医療の違いを経験できる内容だったと思います。エコー検査の機会も多く、内科医（特に消化器内科）を目指す方が研修するにはとても良いと思います。

次に高知の地域医療の状況についてです。高知県は日本でも上位の高齢者率の県であり、地域医療では尚のこと高齢者の患者さんが多かったです。100歳を超えているのにも関わらず、しっかりコミュニケーションが取れる方も数人会うことができたのは良い経験です。県が東西に広い形で山が多い地形のせいもあり、一つの地域医療施設が担う範囲が広く、遠方の高齢者の方などは通院するだけでも一苦労かとおもいきや、曜日ごとに区域別で診療所へ向かうバスが出ていたり、現在は使用されていない診療所の設備を使って出張診療をしていたりと、地域性をしっかり考えて福祉が展開されていました。以前に離島医療見学に奄美大島に行った際にも感じたことですが、医療が潤滑に効率よく動くためには介護と福祉の充実は必要不可欠である事を再認識しました。

高知県で地域医療研修をしながら現地で1月暮らしたことで感じたことは、地域に根付いた医療というのは各地域ごとで異なるということ。それは生活習慣による違いであったり、地理的なものであったり、色々な要因から生じてくる違いだと思います。自分の慣れ親しんだ地域以外で地域医療に携わるときは、『郷に入っては郷に従え』ということわざを常に頭に留めておく必要があります、それを楽しむ柔軟な姿勢が必要であると思います。将来は都心部の大病院で働くのではなく、地元に戻って地域で開業医として働こうと考えてい

るので、そういったことを現場で感じ取れた今回の研修はとても有意義でした。

余談になりますが、高知で食べた料理はどれも美味しく、特にカツオの叩きをはじめとした魚介類は素晴らしかったです。観光ではもちろん、機会があれば医師として勤務する事も考えていこうと思います。一か月間、ありがとうございました。